

第1回別府市協働のまちづくり推進委員会 議事録

日 時：平成29年10月27日（金）10時15分～

場 所：市役所1階 レセプションホール

出席者：【協働のまちづくり推進委員会委員】

中村委員、福谷委員、中山委員、近藤委員、玉田委員、後藤委員、西委員、
原田委員、平石委員、荒金委員

【事務局（自治振興課）】

山内課長、井上主査、田多主任、井餘田主事

委員会内容

●委員長、副委員長の選出

事務局提案により、委員長は福谷委員、副委員長は原田委員に決定。

●議事概略

(1) 議題1 『別府市協働のまちづくり推進委員会』について事務局より説明

- ・自治振興課協働推進室設置以降の経過について説明。
- ・委員会は協働のまちづくり推進条例に基づき設置。
- ・委員会の役割は主に以下の2点

① 施策の評価及び市長への報告

市から毎年度、協働のまちづくりの推進に関する施策の実施状況について報告を受け、その内容を評価し、市長へ報告。必要があると認めるときは、市長に意見を述べることもできる。

② 市長への答申

市長の諮問に応じ、協働のまちづくりの推進に関する重要事項を調査審議し、市長へ答申する。市長に意見を述べることもできる。

- ・協働を推進していくための基本施策は次のとおり。

① 啓発活動及び人材育成の推進

職員研修や市民向けの協働講座の実施による協働意識の向上を図る。

② 市民と市の相互理解の推進

市報、ホームページなどの広報媒体を活用し、協働に関する情報を広く提供することにより、市民と市との考え方の違いや特徴についての理解を深める。

③ 体制づくりと支援策の推進

市の連携体制の構築や地域課題の解決を図る協働の仕組みづくりを行う。

④ 環境整備の推進

中間支援組織の育成や協働の活動拠点の整備が挙げられているが、現状ではいずれもまだ取り組めていない。

⑤ 取り組みの評価や見直しの推進

協働のまちづくりをより良いものにしていくため、協働の取組みを定期的に評価し、その結果に基づき支援制度の見直しや事業改善に反映させる。また、情勢の変化に応じて協働指針の見直しを行う。

(委員長) 事務局から説明がありましたが、質問やご意見がある方は発言をお願いします。

(委員) 別府市の協働のまちづくりの対象は地域課題の解決が中心になると認識してよろしいか。

(事務局) 協働にも広い意味があり、地域だけではなく、大学やNPOや関係団体との協働もあります。昨年までは協働のまちづくり事業という補助事業をまちづくり団体を対象に行っていましたが、今年度は自治会を対象とした補助事業を行っていますので、地域に対する比重が大きくなりますが、担当課としては様々な分野との協働を進めているところです。

(委員) 協働のまちづくり事業補助金はまだ継続しているのか。

(事務局) 実施は今年度まで行っていますが、募集は昨年度で終了しています。

(2) 議題2 『別府市の取組み』について事務局より説明

- ・人口減少、少子高齢化社会に向けて持続可能な地域づくりの観点から、市民と行政がお互いの立場に立って相互に協力し、公共的、公益的な活動を担う協働のまちづくりを実現するため、人材の育成やこれまで以上に多くの市民が自主的にまちづくり活動に参画できる取組みを推進していく。
- ・別府市では今後ますます複雑、多様化していく地域課題を解決するため、地域がある程度の規模感をもって連携・協働し、相互に支え合う『中規模多機能自治』の実現を目指し、今年度から『ひとまもり・まちまもり自治区形成事業』に取り組んでいる。
- ・『中規模多機能自治』では、中学校区単位をある程度の規模感として、将来的には地域包括支援センターとも連携する医療・介護・福祉、公共施設の再編などを含め、自治機能の維持、集約を行っていく。
- ・複数の自治会等が連携・協力して地域が共有する課題の解決に取り組む事業に補助金を交付する『ひとまもり・まちまもり自治区形成事業』では、どこまでを行政が担い、どこまでを地域が担うのかという役割分担を考えながら、一層の協働の推進、地域コミュニティの強化に取り組んでいく。
- ・実情としては中学校区単位での連携という想定には及ばないところがあるため、まずは馴染みのある小学校区が連携することから地域で話し合う機会を持ちながら一歩ずつ取り組んでいる状況。
- ・今後はこの『ひとまもり・まちまもり自治区形成事業』を別府市の重要施策として継続していくうえで、財政面や組織の拡充等についても考えている。

(委員長) 事務局から説明がありましたが、質問やご意見がある方は発言をお願いします。

(委員) 『ひとまもり・まちまもり自治区形成事業』について、具体的にどのような事業が挙げられているのか。

(事務局) ある地区では、ネコや犬のフンの対策として、啓発の看板を統一で作ろうとしています。また、別の地区では祭りの継承として、子ども太鼓を継続させる取組みや清掃活動を地区で連携して行うといった案も出ています。その他には町内公民館が2階にあり、畳敷きのため、高齢者が集まりにくい現状を解決するため、地区内の各町内公民館に和室用の折りたたみイスを整備するといった事業も挙がっています。地域によって進捗状況に差はありますが、職員が地域に入って話し合いに参加しており、11月中には全ての地区で事業が決定する予定です。

(委員) 看板の設置などはその地区だけに留まらず、隣の地区への広がりなどもあるのか。

(委員) 中学校区内の地区同士が連携して取り組めるのが理想なので、地区同士で話し合ったのですが、まともならず、今回は地区ごとに事業を行うこととなった。

(委員) 先日、境川地区の市長懇談会に参加させていただいたが、そこでも犬のフンの問題が挙がっていた。どこの地区も犬のフンには困っていて、看板を作るのはとても良い取組みだと思うので、私の地区でも参考にさせていただきたい。

(3) 議題3 『今後の予定』について事務局より説明

- ・委員会は今年度中にもう一度開催予定。また、平成30年の4月以降に平成29年度に実施した協働に関する取組みについて、評価や意見をまとめ、市長へ報告することが当面の予定。
- ・研修、講座の関係では、今年度は職員研修及び各課協働推進員対象研修を実施。また、来年度は新採用職員研修、市民対象協働講座の開催などを予定。
- ・補助金、その他の項目では、今年度の実施をもって終了する協働のまちづくり事業補助金の成果発表会を来年3月頃実施予定。また、来年度からは『ひとまもり・まちまもり自治区形成事業』も2年目を迎え、1年間の実施期間があるので、引き続き職員が地域に入って事業がより良い方向に進むようサポートしていく。

(委員長) 職員対象の研修は、全職員に行き渡っているのか。

(事務局) 幹部職を含め、各職員は必ず一度は協働研修を受講したことになっています。また、研修内容も外部から講師を呼ぶのか、職員のみでワークショップ形式で実施するのか、より効果的な内容を検討しなければならないと考えています。

(委員) 協働について、まだまだ分からないことが多いので、過去に実施した研修の際に使用した資料などをいただければ、我々も勉強ができるので有難い。

(事務局) 分かりました。

(委員) 市職員対象ということですが、臨時職員なども受講の対象になっていると理解してよいですか。

(事務局) 現状では市の臨時、非常勤職員は協働研修の対象者にはなっていません。

- (委員) 研修に参加できないとしても、協働の認識を持ってもらうための資料などを配布してはどうか。
- (事務局) 市では各課に1名ずつ協働推進員を配置しており、推進員を通じてお知らせしていますが。今後に向けて検討したいと思います。
- (委員) 答申書の提出がこの委員会の最終的な目標なのか、一つでも多く事業を構築していくことが目標になるのかを具体的にしていただけると委員会への携わり方が分かりやすいと思います。
- (事務局) 次回の委員会からは具体的な議題について審議していただくことになるので、回を重ねていく中で委員としての役割もご理解いただけるかと思います。
- (委員長) 施策の評価という管理サイクルを回していくことはとても重要になりますが、この委員会では、市長に対してこの施策は意味があるのかとか、費用対効果はどうなっているのか等を直接答申することができます。良い施策は評価し、駄目な施策は止めさせることができるので、気付いた点があれば、指摘していただきたい。

(4) 議題4『その他』について

- (委員長) 事務局からは特に何もありませんが、全体を通してご意見等がある方は発言をお願いします。
- (委員) 私が気になるのは、元気高齢者と言われる老人クラブの代表である会長たちは研修会やワークショップの場に参加しているのだろうかというところまで把握できていないので、今年度は時間の許す限り、現場に出て行って状況の把握に努めたいと思います。月に一度必ず、会長たちが集まる会議を行っていますが、市の取組みを伝えきれていない部分もありましたので、老人クラブの研修会の場できちんと伝えないといけないと考えています。超高齢社会の主役である元気な高齢者たちが取組みの中にしっかりと足を踏み込むように、地区の中でも呼び込んで欲しいですし、我々も組織として努力しなければならぬと感じています。
- (委員) 『ひとまもり・まちまもり自治区形成事業』が開始されたわけですが、この事業の推進状況等は、この委員会で取り扱う対象になるのか。
- (事務局) 事業を推進していくにあたり、この委員会で協議等をお願いしたいと考えています。
- (委員長) 本日は初めての会議で協働についての定義や委員の役割の確認など、基本的な部分の説明が中心の会議でしたが、今、事務局からも話がありましたように、新たな取組みについても委員会に諮りたいとのお願いがありました。また今後は、市が取り組む事業評価などの協議もお願いすることとなりますので、委員の皆さんの活発な発言をお願いいたします。次回の開催は来年1月の予定とのことですが、事務局と協議のうえ、早い段階で皆さんにお知らせしたいと思いますので、よろしく申し上げます。それでは以上で委員会を終わりたいと思います。ありがとうございました。